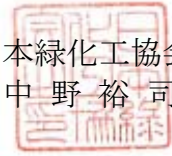


令和4年6月 日

様

特定非営利活動法人 日本緑化工協会
理事長 中野裕司



第42回緑化工技術講習会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本協会主催の緑化工技術講習会は、昭和54年の第1回開催以来、回を重ねるたびにご好評を得、お陰をもちまして本年は第42回をむかえ、別記のとおり開催する運びとなりました。

近年、斜面・法面緑化に対しては、緑化工技術・工法の適正な適用のみならず、生物多様性国家戦略、外来生物法などに示されますように、自然回復・生物多様性保全にまで配慮した緑化が求められております。しかし、これらはお天気次第という側面を持つもので、確実性の低いものとならざるを得なく、緑化成績不良地の増加が問題となってきております。

また、一方では増加する豪雨・地震・火山災害などに対する配慮も求められ、生物多様性保全と斜面・法面の保護・侵食防止のバランスを如何にとるかについて問題となってきております。このような昨今の斜面・法面緑化を取り巻く状況の変化に対応すべく、緑化工にご造詣の深い諸先生に講師をお願いし、緑化工を中心にした法面保護に関する講習を行います。

今回は、「生物多様性保全(ススキなど地域性種苗の活用促進)と獣害対策」、ならびに「緑化工技術-設計・施工指針(案)-の作成に向けて」の二つの特集を組んで実施いたします。

今年度の講習は、近年、ますます酷くなっているシカの食害に対して嗜好性の低いススキなど外来植物を用いることにより、食害回避と生物多様性保全を両立させる試み、地域性種苗としてのススキの活用やヨモギの遺伝子解析結果など、今後の法面緑化における生物多様性保全に関する取組についてテーマとしました。また、当協会では、協会設立60周年の3年後に向けて、曖昧な部分の多い緑化工に関する指針等の見直しを進めております。その検討過程で浮上した地域性種苗の採取(種)範囲の問題、植物生育基盤の品質の問題についてのアンケート調査の結果、ならびにこれらを反映させた設計・施工指針(案)作成の途中取纏について報告致します。

より良い斜面・法面緑化を行うための一助となるよう、本講習を実施いたします。

時節柄ご多用のこととは存じますが、お誘い合わせの上、多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。 敬具

第42回 緑化工技術講習会 案内

- 主 催 特定非営利活動法人 日本緑化工協会
〒125-0042 東京都葛飾区金町 5-35-5-206
FAX:03-5660-1664
E-mail : ryokkakou@gmail.com
URL: <http://www.ryokkakou.jp>
- 後 援 日本緑化工学会
財団法人 日本緑化センター
社団法人 全国特定法面保護協会
NPO 法人 日本環境土木工業会 を予定
- 開催日時 令和4年9月15日(木)13時00分～18時00分 (受付開始12時30分)
令和4年9月16日(金)9時30分～15時00分

4. 会場

東京農業大学世田谷キャンパス
131 教室

・住所

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1丁目1-1

・アクセス

小田急線経堂駅 徒歩約15分

小田急線千歳船橋駅 徒歩15分

バス 約5分 (千歳船橋駅～農大前)

東急バス 渋谷行(渋23)

等々力操車場行(等11)

用賀行(用01)

東京農業大学世田谷キャンパス

交通案内(交通アクセス)

<https://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/>



5. 緑化工技術講習会 内容 (演題・講師、講演内容)

演題	タイトル/講師	講演内容
9/15(木) 特集1. 生物多様性保全(ススキなど地域性種苗の活用促進)と獣害対策		
1日目① 13:00~14:30	在来緑化植物ヨモギにおける国内の自生個体と緑化種子の集団遺伝構造の比較 京都大学農学研究科 准教授 下野 嘉子	在来ヨモギについて、日本各地の自生地や緑化地で採取した個体と、中国産ヨモギ、日本原産種子を中国で栽培した逆輸入ヨモギから育成した個体について遺伝的及び形態的変異を調査した結果、ならびに中国産に混入する他種子について紹介する。
1日目② 14:40~16:10	法面におけるススキの活用と獣害対策 和歌山大学システム工学部教授 中島 敦司	法面におけるススキ活用の取組に関する研究成果と、ススキなどを用いた獣害対策について紹介する。
1日目③ 16:20~17:50	阿蘇くじゅう国立公園における地域性種苗による緑化推進の取組 環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所 国立公園保護管理企画官 山下 淳一	阿蘇くじゅう国立公園において「自然公園法面緑化指針」に則った法面緑化が実施されるよう阿蘇地域産のススキを活用した緑化工の実施体制の取組について紹介する。
9/16(金) 緑化工技術-設計・施工指針(案)-の作成に向けて-1.		
2日目① 9:30~11:00	生物多様性保全の動きの歴史的展開と今後の課題 宇都宮大学名誉教授 谷本 丈夫	斜面、法面の生物多様性保全という動きに、当初から関わってきた経緯を踏まえ、生物多様性保全の歴史と、今後の課題について述べる。
2日目② 11:10~12:40	在来ススキの採取(種)範囲、植物生育基盤材の品質に係わるアンケート調査結果について 日本緑化工協会技術委員長 中野 裕司	法面緑化材料は、地域性種苗の採取(種)範囲、植物生育基盤の品質などルールの定められていないものが多く市場形成が困難、あるいは安からう悪からうに流れ品質の低下が著しい状態にある。アンケート調査により現状の問題点を整理し、解決方向、及び今後の課題について述べる。
2日目③ 13:30~15:00	緑化工技術-設計・施工指針(案)-の作成に向けて-1 緑化植物分科会 吉原敬嗣 施工分科会 熊田啓之 二次製品分科会 石田和宏 植物生育基盤分科会 中野裕司 肥料・接合剤分科会 安部隆博	現場の声が反映されない指針、マニュアル類が多く、様々な問題が手つかずで残されていることを踏まえ、問題点を抽出し、現実に即した新たなルールの作成に取りかかっている。その途中経過について報告する。 ①法面緑化の目的など総論 ②緑化植物の選定、標準配合など ③過去の経験に即した工法名の見直しと工法選定フロー、新たな植物生育基盤造成厚さの設定方法、施工管理指針(案)など、 ④植物生育基盤材の品質基準(案)、高度化成肥料高騰対策など
希望有志参加 15:10~ 17:00頃	技術情報交流会 (テーマ未定・決まり次第第HPに掲載します。)	緑化工に関して未解決な問題等について意見交換を行う。 (テーマ募集、ご希望のテーマがありましたら、事務局までお知らせください。)

注) 講師、演題、時間など、講師の都合により変更することもあります。詳しくは、協会HPをご確認ください。

6. 参加申込

参加ご希望の方は、参加申込書に参加者の氏名・勤務先などをご記入の上、FAX、またはE-mailでご送信ください（申込用紙は、次ページ）。

<申し込み記載事項>

勤務先名、所在地

電話/FAX 番号

参加者氏名

参加者 E-mail アドレス

(講習会の連絡・案内などに用います。この他の用途に利用しません。)

7. 申し込み期限

申込締切日時：令和4年9月9日(金)

先着150名様で〆切とさせていただきます(300人教室を用います)。

締切が過ぎた場合でも、キャンセルなど席に空きがある場合は対応いたします。

(FAX・E-mailでお問い合わせください)

8. 参加料

1名につき、20,000円

参加料は、下記銀行口座へお振り込み下さい。恐れ入りますが、振り込み料金はお負担ください。また、振込を行った後、氏名等をE-mailなどでお知らせ下さい。

振込期日：令和4年9月13日(火)

<振込先(銀行口座)>

みずほ銀行 新川支店(店番号127)

普通預金

口座番号 1479168.

振込先口座名 ニホンリョクカコウキョウカイ

<領収書の発行>

領収書の発行：振込用紙をもって領収書に変えさせていただきます。

領収書などが必要な場合は、申込書にその旨御記載下さい。発行いたします。

予約確認書や参加券などの発送は行いません。ご了承ください。

<講習会終了後の支払について>

ご都合により、講習会終了後にお支払いの場合は、その旨、申込書にご記載下さい。

<変更・取り消しについて>

参加の変更・取り消しについては、FAX、E-mailにてお早めにお知らせください。

9. 見積書

見積書が必要な場合は、次ページの見積書をお使いください。

10. 講師などへの質問

講習内容に関する質問などを受け付けます。

下記URLよりダウンロードの上、記載しFAX、メールにておながし下さい。

<http://www.ryokkakou.jp/pdf/42shitumonn.docx>

11. 申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本緑化工協会 事務局

〒125-0042 東京都葛飾区金町 5-35-5-206

FAX：03-5660-1664

E-mail：ryokkakou@gmail.com URL：http://www.ryokkakou.jp

※ 事務所に常駐しておりません。お問い合わせは、恐れ入りますがFAX・E-mailでお願いいたします。

第 42 回 緑化工技術講習会 申込書

FAX : 03-5660-1664

E-mail : ryokkakou@gmail.com

申し込み日 令和 4年 月 日

勤務先名		電話 FAX	
所在地	〒		協会からの お知らせ ※
氏名 1		アドレス :	受け取る
氏名 2		アドレス :	受け取る
氏名 3		アドレス :	受け取る
氏名 4		アドレス :	受け取る
氏名 5		アドレス :	受け取る
連絡先 代表者氏名		アドレス :	受け取る
連絡欄	その他要望・連絡事項 注) 民間の方には原則として、請求書、領収書の発行は行いません。ご了解ください。 官公庁の方で、請求書、領収書の発行が必要な場合は、宛名、明細などをお知らせください。		

※ E-mail アドレスは、第 42 回緑化工技術講習会の連絡、及び次回講習会案内などに用います。
 次回の講習会の案内、緑化工に関するニュースを不定期に流させていただきます。
 講習会の案内、ニュースを必要とされない方は、「受け取る」を横線にてお消してください。

見 積 書		令和 4年 月 日	
様			
東京都葛飾区金町 5-35-5-206 特定非営利活動法人 日本緑化工協会 理事長 中野 裕司			
下記のとおり御見積申し上げます。			
税込合計金額 ￥		円也	
品 名	数 量	単価(円)	金額(税込)(円)
緑化工技術講習会受講料		20,000	
合 計			
備 考			